

リテラ RETERRA

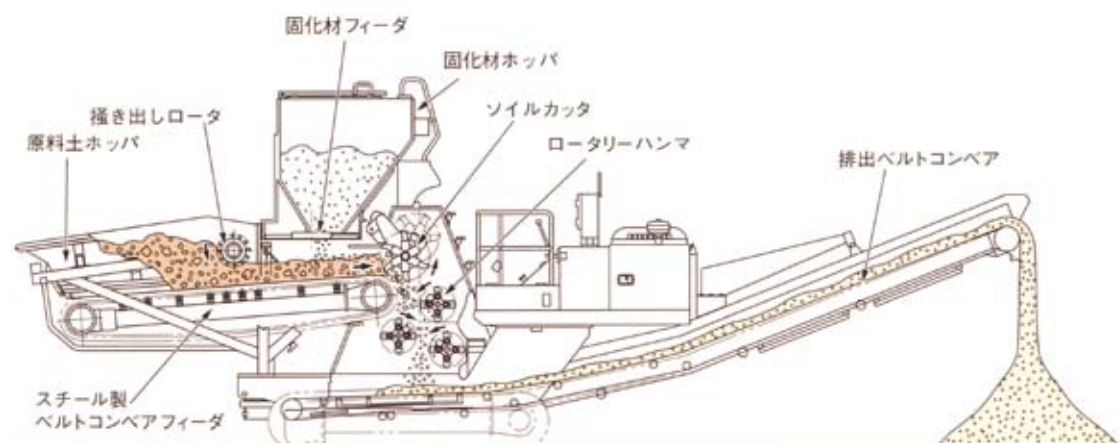
画期的な混合能力により
高品質な改良土を効率的に生産

理想的な混合能力

混合機には瞬間的にほぐして完璧に混合するソイルカッタ＋3軸ロータリーハンマを採用。粘性の高い土からローム、レキ混じり土まで広範囲の建設発生土を高品質な改良土に作り直すことができます。カッタおよびハンマは揺動式なので、レキが混入しても詰まりや破損の心配はありません。カッタは必要のない時には収納可能。また、混合機ケースはシリンダーによるフルオープン式で、整備・清掃が簡単に行えます。



土質改良のしくみ



●リテラ RETERRAの特徴

任意の強度の改良土が製造可能(特許出願中)

固化材添加量は、ダイヤル操作によりワンタッチで広範囲に調整できます。また、原料土の供給量も同様にコントロール可能なので、任意の強度の改良土が製造できます。

処理前



処理後



固化材添加量
調整範囲

20~180kg/m³

プラントに迫る大作業量

ビッグパワーを発揮するコマツS6D102Eエンジンの搭載と、効率的なソイルカッター+3軸ロータリーハンマの採用により、プラントなみの大きな処理能力を発揮します。

処理能力

40~80m³/h

※処理能力は土をほぐした状態の値です。投入する土の種類・作業条件により異なります。

定格出力

99kW [135Ps]

環境に優しい低騒音

建設省の平成9年度排出ガス規制値をクリアするクリーンなエンジンを搭載しています。また、低騒音設計のエンジンと低速度トルク型油圧ポンプを採用し騒音低減を図ると共に、振動も低く抑えました。

単位: d B (A)

作業条件 (エンジンアイドル)	全作業機OFF	全作業機ON (無負荷)
騒音[周囲7m] (4方向エネルギー平均値)	72	74

粉塵を低減(特許出願中)

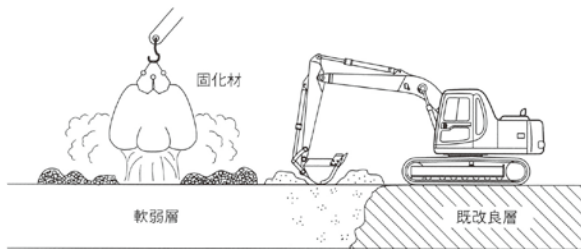
フルカバーされたロングベルトコンベアを標準装備し、粉塵の飛散を最小限に抑制。また、排出高さが2500mmと高く、2次ベルトコンベアなしでも作業が行えます。



■従来工法との比較■

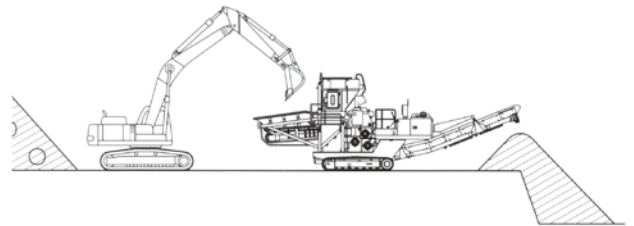
従来工法

軟弱地盤に固化材を敷き、油圧ショベルで混ぜながら突き固めます。



リテラ工法

掘り返した土砂をリテラに固化材と混ぜて改良土をつくり、埋め戻した所を転圧します。



問題点

固化材との混合が不十分で混合ムラができ、地盤の固さが均一になりにくく、固化材による粉塵公害も問題です。

メリット

固化材と均一に混合できるため高品質な構造が可能で、固化材散布用車両も不要。粉塵問題も解消されます。

SR-G2000

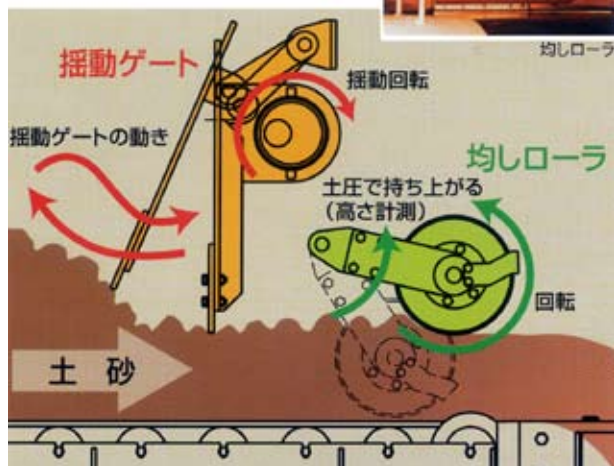
- 粘性土・高含水比土質に好適。作業量拡大型の自走式土質改良機。



固化材コストを低減して、 効率よく高品質な改良土を生産します。

粘性土も安定して供給できる 新機構「揺動ゲート」を採用

揺動ゲートの作動により土砂の架橋現象を防止し、安定した土砂の供給が可能です。また、均しローラにより供給土砂量を連続して計測し、固化材添加量を正確に制御します。



高い混合効率で、 あらゆる性状の土質も改良可能

混合機にはSR-Pシリーズでも好評の「2軸パドルミキサ」方式を採用し、あらゆる性状の土質も改良可能です。さらに、構造変更によりクラス最大の作業量を実現しました。

クラス最大の作業量 処理能力

40～135m³/h

※土の性状や作業条件、固化材添加量などにより異なります。
※150mm×150mm以上の礫(れき)などが混入している場合は前処理が必要です。



混合機内部 2軸パドルミキサ

大容量添加に対応できる スクリーフィーダ

固化材添加量

5～200kg/m³

※処理土量や固化材の性状、比重などにより異なります。



●SR-G2000の特徴

幅広で低い土砂ホッパにより
土砂の供給が容易

固化材添加量は、ダイヤル操作によりワンタッチで広範囲に調整できます。また、原料土の供給量も同様にコントロール可能なので、任意の強度の改良土が製造できます。



土砂ホッパ



土砂フィーダ・揺動ゲート

伸縮式固化材ホッパにより
一体輸送が可能

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。



写真は固化材ホッパを縮め、固化材ホッパの手すりを外した状態です。

分割開放型混合機により
メンテナンス性が向上

混合機下部ケーシングは、油圧シリンダによりスライド開閉が可能で、点検・清掃が容易にできます。



分割開放型混合機(開放状態)

ワンマンコントロールが可能
-操作性・安全性-

スイッチひとつで連動運動が可能。万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。

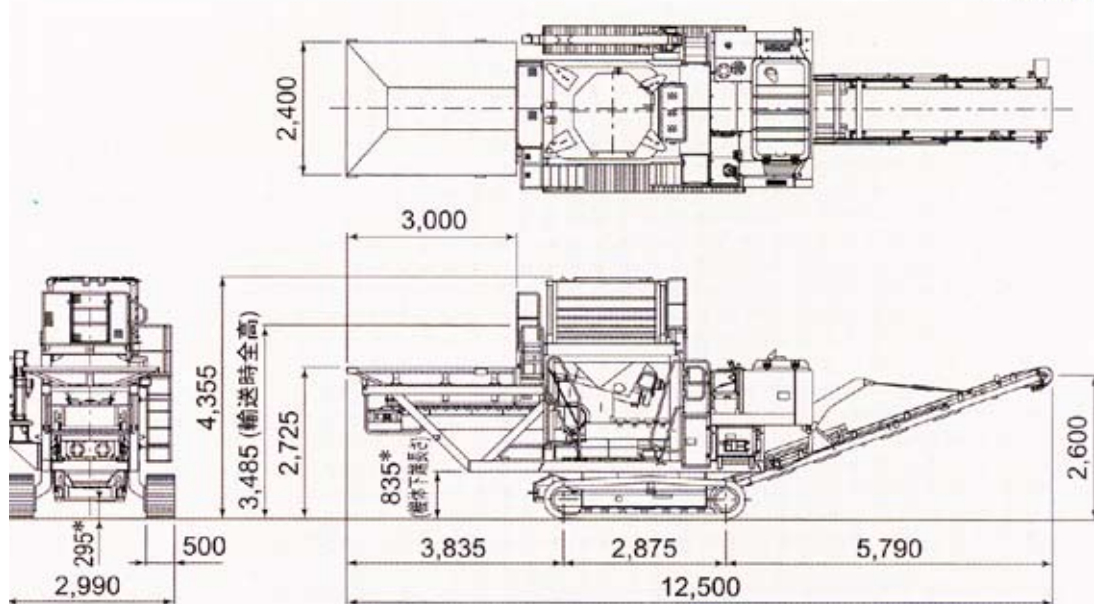


操作盤

寸法図

寸法図

単位：mm



(注) *印の寸法は、シューラ格高さを含みません。